

食流機構

公益財団法人 食品等流通合理化促進機構
<http://www.ofsi.or.jp/>

2022

1

月号

No.313

OFSI

I N D E X

- 年頭のご挨拶 ②
- 令和3年度輸出に取り組む優良事業者表彰 受賞者決定 ④
- 令和3年度鳥獣被害対策担い手マッチング事業
「鳥獣対策まるわかり体験会」 ⑤
- 令和3年度外食・中食等における国産食材活用促進事業
ジビエ産地商談会開催のご報告 ⑥
- <厚生労働省> 令和4年1月以降のコロナウイルス感染症に
係る雇用調整助成金等の特例措置等について ⑧
- 農林水産統計情報 ⑧



鳥獣対策まるわかり体験会フィールド体験地にて 智頭急行線を通過する列車

年頭のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年10月に岸田政権が発足しました。「新しい資本主義実現会議」において今後の日本の経済のあり方についての議論が始まっています。岸田政権はその発足から新しい資本主義を標榜しております。その中心的な考え方は成長と分配の好循環と言うことです。政府と民間が手を携えて経済の成長を図りその果実の分配を適切に行い更に成長につなげるということで、米国のレーガン政権や英国のサッチャー政権以来続いてきたといわれる新自由主義との違いを打ち出そうとしております。



経済の在り方については、日本だけではなく、EUや米国でも議論が行われています。それは、市場経済へ過度の依存と経済のグローバル化のなかで各国の国民の間に格差が拡大していることと、地球環境問題に対応して今までの延長線上の経済運営でいいのかという反省に基づくものと思われます。

ただ、日本の場合は長い年月にわたる経済の停滞、いわゆる失われた30年からいかに脱却するかという大きな問題を抱えているということが他の国と決定的に違うところです。GDPですべてが計れるわけではありませんが、その成長率が日本の場合ここ2～30年極めて低水準に推移したのはご存じの通りです。かつて、世界の1～2位を争っていた一人当たりの賃金水準は隣の韓国にも追い抜かれるようなみじめな状況になっています。昨年12月5日付の日経新聞に2000年からの20年間で国内投資が英国の59%増を筆頭に米国48%、フランス44%の伸びを示しているのに対し、日本はわずか9%の伸びに過ぎないという特集記事を読みました。日本経済の停滞の背景を端的にあらわしていると思いました。

日本においては、新自由主義が行き過ぎたというよりむしろ不徹底に終わり、構造的な改革がほとんど行われなかったということではないかという気がします。その内容に賛否はあると思いますがドイツで20年ほど前に行われた雇用規制の緩和等の改革は、我が国のお手本といわれながら日本では手がついていないか、手を付けても不徹底に終わっています。

そこで市場は、政府が「成長と分配の好循環」を目指すというときに、成長のための政策、改革が軽視されるのではないかという危惧を抱いているように見えます。石油価格の高騰を目の前にしてガソリン等の価格を抑えるために補助金を出したり（漁業等大きな影響を受ける業種に緊急の支援を行うことは必要でしょう）、バイデン政権に依頼されたので仕方がなかったのですが、ほとんど効果のない石油備蓄の放出などの対応を見ると、政府の経済への過度の介入が行われるのではないかと危惧を覚えます。

今後の経済のあり方を議論する上で、最も大きな問題は、脱炭素の要求とどう折り合いを

つけていくかということでしょう。脱炭素を成長戦略として取り込むというのは総論としては正しいかも知れませんが、実際の対応は極めて難しいのではないかと思います。今回の石油価格高騰に際しての米国政府の対応が矛盾したものになっていることはそのことを端的に物語っています。環境重視の政策の中で石油を始め炭素エネルギーへの投資をディスカレッジする傍ら、OPECに石油の増産を要請するというちぐはぐなことになります。地球環境問題に対処する必要があるが、カーボンプライシングなどのやり方によっては弱者や中小企業に大きなしわ寄せが来ます。非常に慎重で計算しつくされた対応が求められます。

岸田政権が、日本の未来の成長の姿を目指す場合に、科学技術の振興をうたっていることは的を得ていると思います。日本のように人的資源以外に優位性のない国では科学技術による国づくりが基本になるべきだと思います。

その際、この会議でどれくらいとりあげられるかわかりませんが、個人的には日本の教育の在り方にも大胆なメスを入れるべきではないかと思っています。

極端な意見に聞こえるかと思いますが、小、中の公教育の段階から習熟度別のクラス編成を進める他、飛び級制度の導入にまで踏み込むべきだと思います。それくらいのことをしないと、日本の50年後、100年後の未来は開けないと思います。現在の極端に平等を重んじる教育は逆差別だということに気付く必要があります。これまで半ばタブーとされてきた点ですが、誤解を恐れずあえて問題提起します。9月入学の問題も議論を避けるべきではありません。

また、日本の人口問題に正面から取り組む必要があります。これも昨年12月6日の日経新聞の記事ですが、先進国は人口の減少を移民の受け入れで補っていく実情が明らかにされていきました。移民というかどうかは別にして外国人の受け入れを本気で考えないと、出生率を上げるだけでは人口減を食い止めることは到底できないことはみんな分かっていると思います。子供を産み育てるベースになる若い世代の人口が極端に減っているわけですから。

このような論点が政府の有識者会議、その内外で議論されるだろうと思いますし、議論してほしいと思います。議論がどのようなものになってどのような日本の経済成長のデザイン、経済のモデルを描くことができるのか注目したいと思います。

この経済の在り方を含め、われわれは、安全保障政策さらには憲法改正の問題など将来の日本を左右する課題に直面しており、それらの行方いかんによっては今年は大きな節目の年になるのではないかという気がします。

もちろん、コロナ感染症が収まるという節目の年になることを第一に祈っております。

公益財団法人 食品等流通合理化促進機構
会長 村上秀徳

令和3年度輸出に取り組む優良事業者表彰 受賞者決定

当機構では、本年度、農林水産省の補助を受け、輸出に取り組む事業者のうち優れた事業者に対して表彰を行い、その取組内容を広く紹介することによって、我が国の農林水産物・食品の輸出を促進することを目的として「輸出に取り組む優良事業者表彰」を実施しました。その表彰式典を、岸田内閣総理大臣ご臨席の下、12月10日（金）ザ・キャピトルホテル東急（東京都千代田区）にて開催いたしました。（農林水産物等輸出促進全国協議会総会において日本食海外普及功労者表彰とともに表彰）各賞の受賞者は下記の方々です。

令和3年度（第6回）輸出に取り組む優良事業者表彰 受賞者

農林水産大臣賞（4点）		
受賞者名（敬称略）	取組内容	所在地
飛騨ミート農業協同組連合会	国内随一の衛生管理で飛騨牛を世界へ届ける	岐阜県高山市
明石酒類醸造株式会社	日本酒を知らない海外のローカル市場を地道に開拓	兵庫県明石市
株式会社キョーリン	高品質で安心安全な日本産ペットフード「Hikari」	兵庫県姫路市
株式会社フンドーダイ	戦前は天津とバンコクで製造、1995年再チャレンジ	熊本県熊本市

農林水産省食料産業局長賞（6点）		
受賞者名（敬称略）	取組内容	所在地
株式会社ダイショー	現地の文化に沿う提案で日本の伝統の味を届ける	東京都墨田区
カメヤ食品株式会社	わさびを生産・加工・販売し、海外に刺激を届ける！	静岡県駿東郡清水町
木村飲料株式会社	顧客ニーズへの細やかな対応で自社ノウハウを構築	静岡県榛原郡吉田町
大京食品株式会社	品質重視の無添加商品を世界のヘルシー食市場へ	京都府京都市
紀の里農業協同組合	海外市場を取り込んで農家の所得安定確保	和歌山県紀の川市
Japan potato 有限会社	独自長期貯蔵技術で高品質の生芋を年間輸出	鹿児島県鹿屋市

公益財団法人 食品等流通合理化促進機構 会長賞（4点）		
受賞者名（敬称略）	取組内容	所在地
マルカイチ水産株式会社	積極的な設備投資で工程自動化・付加価値向上	北海道紋別市
三幸製菓株式会社	日本で人気の米菓『雪の宿』シリーズを世界へ！	新潟県新潟市
株式会社舞妓の茶本舗	多言語 EC を構築し、輸出直販ラインを獲得	京都府京田辺市
オーケー食品工業株式会社	独自の海外戦略でいなりあげの大量受注に成功	福岡県朝倉市



令和3年度鳥獣被害対策担い手マッチング事業 「鳥獣対策まるわかり体験会」

鳥獣被害対策に取り組む意欲のある者を発掘・育成する「鳥獣対策まるわかり体験会」第4回目が鳥取県で開催されました。県内大学生の参加もあり、接点のない立場がどうやって鳥獣被害対策に関われるかなどの質問、意見が交わされました。

鳥取県：ちづ deer's 令和3年11月20日(土)



地元猟友会より、居住地域における鳥獣被害の説明を受ける。



茂みの中に仕掛けられた罠。

＜当日のスケジュール＞

11:00 開会

11:00～11:30 講習

11:30～13:30 フィールド体験

13:30～14:00 施設見学

14:00～15:00 昼食・交流会

※昼食にはとっとりジビエを扱うキッチンカーで調理されたシカ肉「うちもも肉のロースト」、「もも肉のストログノフ」「すね肉のポトフ」を試食しました。

15:00 閉会



イノシシに荒らされた田畑



ちづ deer's 赤堀代表による、加工施設内の説明と解体見学。



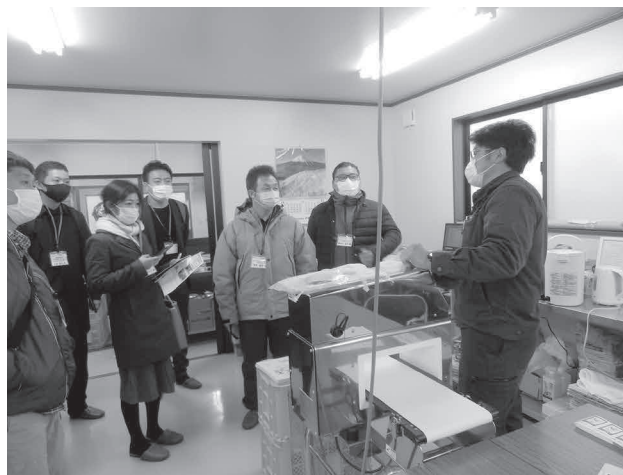
異猟の道具、刺し止めに使用する刃物について説明

令和3年度外食・中食等における国産食材活用促進事業 ジビエ産地商談会開催のご報告

令和3年11月25日(木) 9:40~11:30

信州ジビエ <信州富士見高原ファーム>

試食品：(全てシカ肉) 背ロース / 内・外もも / シンタマ / チョリソー / ハム / ハチミツ



令和3年11月25日(木) 13:30~15:00

タバジビエ<丹波山村ジビエ肉処理加工施設>

試食品：やまなしジビエ(シカ肉) 認証制度で認証された複数エリアのシカ肉



10月号でお知らせをした、ジビエ生産者と外食・中食事業者のお互いの要望を結びつける「ジビエ産地商談会」が3つの産地で開催されました。

今回ご案内するジビエ産地の加工処理施設は、いずれも衛生管理に信頼のおける国産ジビエ認証施設です。それぞれの施設で、素材本来の味を確かめる素焼き、加工品、シチューなどの調理メニューが提供されました。



令和3年12月2日(木) 11:00~13:00
京丹波ジビエ<京丹波自然工房>
試食品:(全てシカ肉) ロース/すね/内もも



<問い合わせ先>

(公財) 食品等流通合理化促進機構 業務部(担当: 田中) TEL: 03-5809-2176

<厚生労働省> 令和4年1月以降のコロナウイルス感染症に係る雇用調整助成金等の特例措置等について

「新型コロナウイルス感染症に係る雇用調整助成金・緊急雇用安定助成金、新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金の特例措置については、令和3年11月末までとしているところですが、来年3月まで延長します。現在の助成内容は令和3年12月末まで継続することとする予定です。

令和4年1月以降の特例措置の内容については、・・・11月中に改めてお知らせします。」とされていたところ（10月19日公表）、厚生労働省から令和4年1月～3月の具体的な助成内容が11月19日に公表されています。

令和4年4月以降の取扱いについては、2月末までに改めて公表される予定です。

<厚生労働省 HP https://www.mhlw.go.jp/stf/r401cohokurei_00001.html>

農林水産統計情報 令和3年4月～令和4年3月までの公表予定より (https://www.maff.go.jp/j/tokei/sokuhou/yotei/attach/pdf/index_nenkan_r3-2.pdf)

農林水産省（大臣官房統計部及び各局等）が公表している農林水産統計について、1月に掲載が予定されている生産・流通に関する資料名を紹介します。

資料名	収録内容	担当課（室）
大臣官房統計部		
・作物統計調査 令和3年産てんさいの作付面積及び収穫量（北海道）	北海道の作付面積、10a 当たり収量及び収穫量	生産流通消費統計課
・作物統計調査 令和3年産もも、すももの結果樹面積、収穫量及び出荷量	全国・主産県別の結果樹面積、10a 当たり収量、収穫量及び出荷量	生産流通消費統計課

編集後記

- ▶ 新年のご挨拶を申し上げます。
新たな変異株への脅威はあれど、それでも昨年より街の賑やかさが感じられる年末年始であるかと思われます。
幸いなことに私どもも年内スケジュールを欠けることなく終え

ました。今月号では12月に行われた輸出に取り組む優良事業者の表彰結果についてご紹介をしています。事例の詳細はホームページに掲載していますので併せてご覧下さい。
今年も引き続きよろしくお願い申し上げます。(A)